

# 古墳時代学習キット一覽 ①



## 坏身(つきみ)・坏蓋(つきぶた) 《須恵器(すえき)》

古墳時代学習キット 1, 2 下耳切第3遺跡(高鍋町)

須恵器は朝鮮半島の影響を受けて登り窯を使い高温で焼かれる青灰色の焼物です。この資料のものをに入れる容器の部分を坏身、蓋を坏蓋と呼んでいます。



## 台付短頸壺(たんけいつぼ) 《須恵器(すえき)》

古墳時代学習キット 3 瀬戸前1号横穴墓(宮崎市)

首の短い壺形に脚のついた須恵器です。飲み物などをいれたと考えられています。



## 短脚高坏(たんきゃくたかつき) 《須恵器(すえき)》

古墳時代学習キット 4 下耳切第3遺跡(高鍋町)

短い脚のついた須恵器の高坏です。食べ物の盛り付け、祭事・儀式などに使われた容器だと考えられます。



## 須恵器片(すえきへん)

古墳時代学習キット 5~7 下耳切第3遺跡(高鍋町)

甕(7)・提瓶(5)・坏蓋(6)の一部です。須恵器の製作過程で行われたへらなどで形を整えた調整のあとがわかります。(7)は外面に容器を強くするための平行のタタキ目(格子状)が、内面には同心円文が(5)は外面にカキ目、(6)は内外面とも回転へらけずりの横方向のナデが施されています。



## 高坏(たかつき)

《土師器(はじき)》

古墳時代学習キット 8 下耳切第3遺跡(高鍋町)

土師器は弥生土器の系統をひき古墳時代やその後の時代まで続く淡黄~赤褐色の素焼の土器です。この資料は浅い碗形をした上部に脚のついた土器です。食べ物などを盛り付けたと考えられます。



## 甕(かめ)

《土師器(はじき)》

古墳時代学習キット 9 上の原第1遺跡(宮崎市清武町)

口が広く、胴部がふくらみます。煮炊きに使ったり、大型のものは水甕に使われたりしました。

# 古墳時代学習キット一覽 ②



## 鉢 (はち)

《土師器(はじき)》

古墳時代学習キット 10

山口遺跡第2地点(延岡市)

底から口にかけて開いていく盛りつけ用と思われる土師器の鉢です。



## 砥石 (といし)

古墳時代学習キット 11,12

下耳切第3遺跡(高鍋町)

砥石は弥生時代以降本格的に使われるようになりました。古墳時代には、玉や鉄の道具を磨いて、玉類を加工したりするのにも使われていたと考えられます。



## 磨石 (すりいし)

古墳時代学習キット 13

下耳切第3遺跡(高鍋町)

旧石器時代に使われ始めた磨石は古墳時代にもなお使われ続けました。食べ物などをすり潰すのに使われていたと考えられます。



## 敲石 (たたきいし)

古墳時代学習キット 14,15

下耳切第3遺跡(高鍋町)

磨石と同じく時代を越えて使われ続けた道具の一つです。食べ物の加工、調理や、顔料の粉碎などに使われたと考えられます。

# 古墳時代学習キット一覧 ③



16

## 耳環 (じかん)

古墳時代学習キット 16

内城跡(宮崎市佐土原町)

古墳時代に使われたイヤリングです。銅製のリングに金や銀のメッキを施して、耳を飾りました。



17

## 管玉 (くだたま)

古墳時代学習キット 17

志戸平遺跡(新富町)

縄文時代に起源を持ち、弥生・古墳時代に盛んにつくられました。碧玉などの石を材料として当時の職人が加工しました。多くを紐に通して首飾りなどに使われました。



18

## ガラス小玉 (がらすこだま)

古墳時代学習キット 18

宮ノ前第2遺跡(高千穂町)

多くを数珠つなぎにして、首飾りなどに仕上げられました。この玉はガラス小玉ですが、ヒスイや蛇紋岩、滑石などで作られたものもあります。



19

20

## 鉄鏃 (てつぞく)

古墳時代学習キット 19, 20

下那珂遺跡(宮崎市佐土原町)

古墳時代には鉄製の矢が一般的になりました。先の尖ったものだけでなく、逆台形〔圭頭形〕の形も使われ始めました。



21

## 鉄剣 (てつけん)

古墳時代学習キット 21

迫内遺跡(宮崎市)

両刃で鑄(刃の間にある縦筋、稜線)を持つものを剣、片刃のものを刀と呼んで区別しています。古墳時代の剣は武器や祭事・儀式の際に使われていたと考えられています。